Victor "HIS MASTER'S VOICE"

# 取扱説明書

# ダブルカセットデッキ

## 型名 TD-W603MK3

—お買い上げありがとうございます—

⚠ **ご使用の前に**

この「**取扱説明書**」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

**特に *2* ～ *5* ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。**

そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

## もくじ

### お使いになる前に



### 使いかた



### 知っておいてほしいこと





LVT1240-001B

# 安全上のご注意 ーはじめにお読みくださいー

## 絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

### ⚠警告

・この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

### ⚠注意

・この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

**●絵表示の説明**

注意をうながす記号

一般的注意

感電

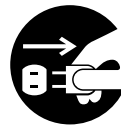
行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

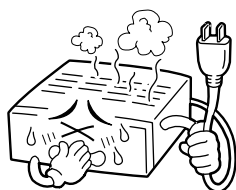
行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

## ⚠警告

### 万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

・煙が出ている、へんなにおいがするとき

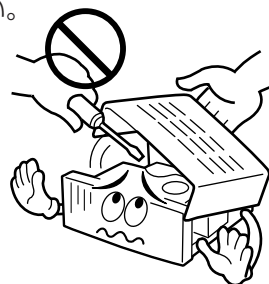
電源プラグを抜く

・内部に水や異物が入ってしまったとき
・落としたり、破損したとき
・電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

電源プラグを抜く

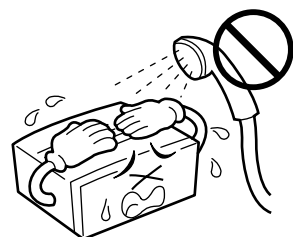
すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜く。このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

### 分解や改造をしない。カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

### 風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

水場での使用禁止

# ⚠警告

## 本機の中に物を入れない。

通風孔やカセットテープ挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

## 電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

## 電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

## 電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取ってください。

## 本機の上に水の入った容器を置かない。

花びん、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

水ぬれ禁止

## 雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

接触禁止

## 表示された電源電圧（交流100ボルト）で使用する。

表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

## 本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

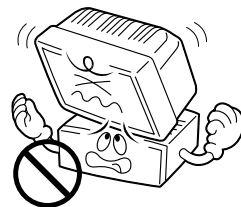
頭からかぶると窒息の原因となります。

## ⚠注意

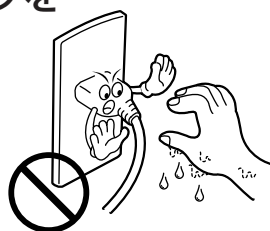
### 電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

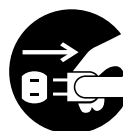
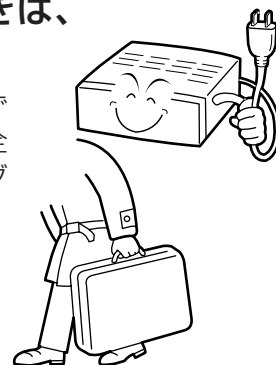
電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

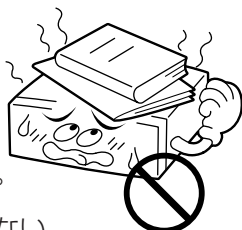
### 本機の上に重い物を置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

### ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

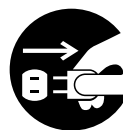
感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

### 長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

電源プラグを抜く

### 通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

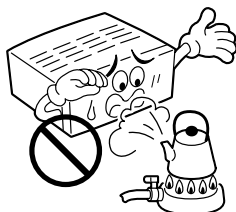
本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10㎝以上離す

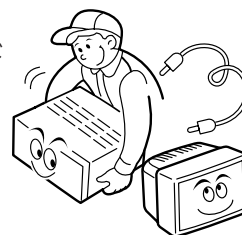
### お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

### 置き場所に注意する。

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

### 移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

# ⚠注意

## はじめから音量を上げすぎない。

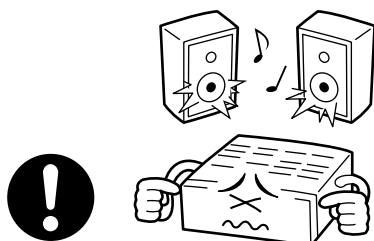
突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。
電源を切る前にアンプ等の音量（ボリューム）を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

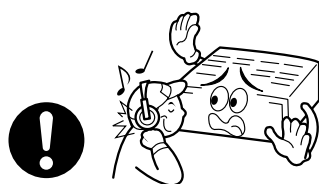
## カセットテープ挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

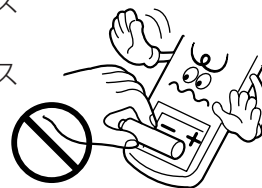
手を挟まれないよう注意

## ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を受けることがあります。

## 3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

## 電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

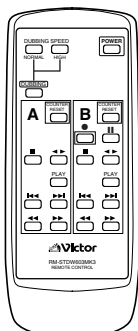
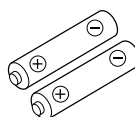
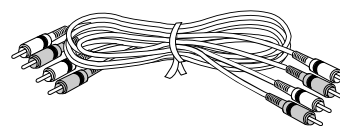
- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス（＋）とマイナス（－）を間違えない
- 電池のプラス（＋）とマイナス（－）をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。



### ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。
特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。
窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

### 付属品の確認

お使いになる前に付属品をお確かめください。

リモコン
RM-STDW603MK3（1個）

単3形乾電池（2本）
（リモコン動作確認用）

ピンコード
（2本）

# 使用上のご注意

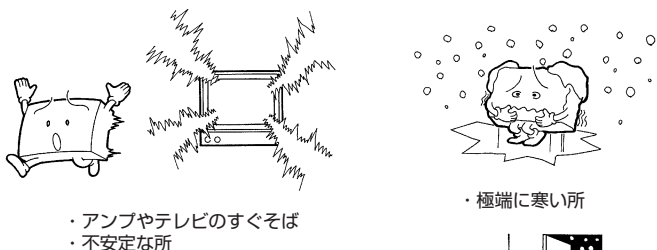
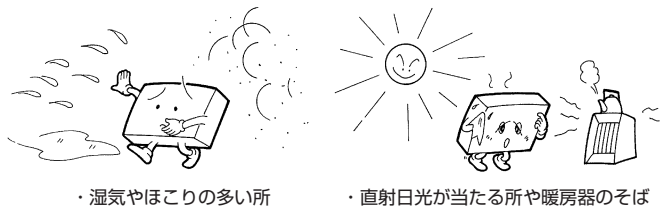
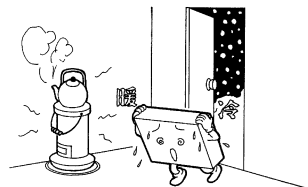
## 使用（設置）場所の環境について

● 故障などを防止するため次の場所は避けてください。

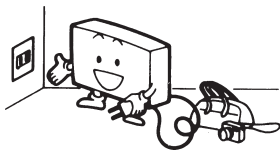
・湿気やほこりの多い所

・直射日光が当たる所や暖房器のそば

・アンプやテレビのすぐそば
・不安定な所

・極端に寒い所

・磁気を発生する所
・振動の激しい所

・寒い所から急に暖かい部屋への移動

● 長期間使用しないときは…

ご旅行などで長い間ご使用にならないときは、電源コードをコンセントから抜いておいてください。

［本気は電源を“スタンバイ（切）”にしても、わずかな電流が流れています。節電に心がけましょう］

● 外国での使用は…

本機は日本国内用ですので電源電圧・電源周波数の異なる外国では使用できません。

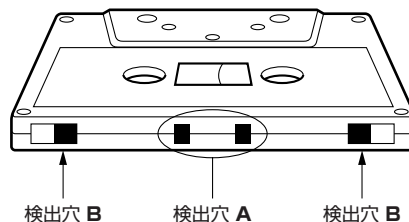
## カセットテープの保管

カセットテープはケースなどに納め、次のような場所はさけて保管してください。

● 湿気やほこりの多い所
● 直射日光が当たる所や暖房器のそば
● テレビの上やスピーカーの上など、磁気の影響を受けやすい所

## お使いになれるテープは

● オートテープセレクト方式になっていますので、テープの種類は自動的に判別されます。

本機でお使いになれるカセットテープは次のものです。

| タイプ | 検出穴A | 検出穴B |
|---|---|---|
| BIAS：METAL（TYPE Ⅳ）<br>EQ ：70 μs | あり | あり |
| BIAS：HIGH（TYPE Ⅱ*）<br>EQ ：70 μs | なし | あり |
| BIAS：NORMAL（TYPE Ⅰ）<br>EQ ：120 μs | なし | なし |

＊ハイポジション（略称ハイポジ）テープのことです。

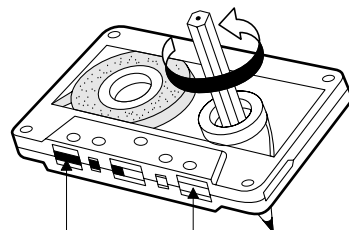
## カセットテープの取り扱いかた

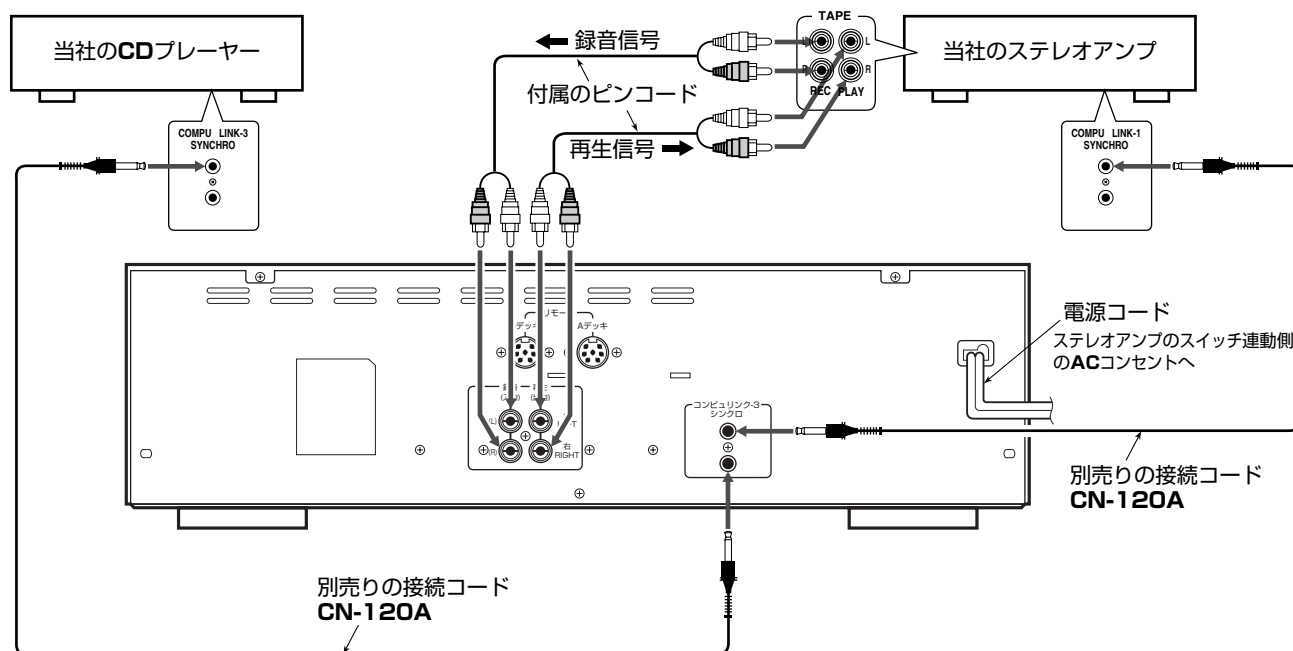
・テープにたるみがありますと、巻き込んだり、故障の原因になります。使用する前に右図のようにしてたるみを取り除いてください。

矢印方向に鉛筆を回す。

・テープを引き出したり、テープ面にふれないでください。

・**C-120などの長時間テープについて**
長い時間使えて便利ですが、薄く伸びやすいためこきざみな走行、停止、および早送り・巻戻しをくり返すと、テープが機械に巻き込まれる原因となります。なるべく90分（C-90）以下のテープをご使用ください。

・**リーダーテープについて**
テープの始まりと終わりには、録音できない部分（リーダーテープ）があります。録音する前にこのリーダーテープの部分を巻き取っておきましょう。

# 接続 ーすべての接続が終わるまでは電源を入れないで下さい。ー

## ステレオアンプや CD プレーヤーと接続するには…

- CD プレーヤーとシンクロ録音するときは…
  別売りの接続コード（CN-120A）でデッキ部とCDプレーヤーの COMPU LINK-3 SYNCHRO（または COMPU LINK-1 SYNCHRO）端子をつなぎます。

- コンピュリンク機能について
  詳しくは ***11*** ページをご覧ください。

■ 付属のピンコードは白色のプラグを左チャンネルに、赤色のプラグを右チャンネルに揃えておきますと、接続ミスが防げます。

■ プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音の原因になります。

### ■本機の設置について

ステレオアンプと直接重ねたりテレビのそばに設置すると、雑音（誘導ハム）が生ずることがあります。ステレオアンプやテレビとは間隔をとってご使用ください。



## マイクの接続

# 各部の名前　ー(　)内のページに説明がありますー

■ピークレベルメーター上の0VU表示は…
・0VU　：従来のEIAJの基準レベル（160nWb/m）
・0dB　：IEC（JIS新EIAJ）の基準レベル（250nWb/m）を表しています。

■リバースモードを (⇄) にして録音してもリバース方向の巻き終わりで自動停止します。録音中は ⇄) が表示窓に表示されます。

## カセット操作ボタン(デッキA)

◀▶ テープ走行方向
：テープの走行方向を変えるとき

⏏ 取出し
：テープを取出すとき

◀◀ ：左方向早巻き
選曲中に押すと飛越したい曲数が設定できます。(➡**14**)

▶▶ ：右方向早巻き
選曲中に押すと飛越したい曲数が設定できます。(➡**14**)

■ 停止 ：テープを止めるとき

▶ 再生 ：再生するとき(➡**12**)
再生中に ◀◀ または ▶▶ ボタンを押すとミュージックスキャンができます。(➡**14**)

## カセット操作ボタン(デッキB)

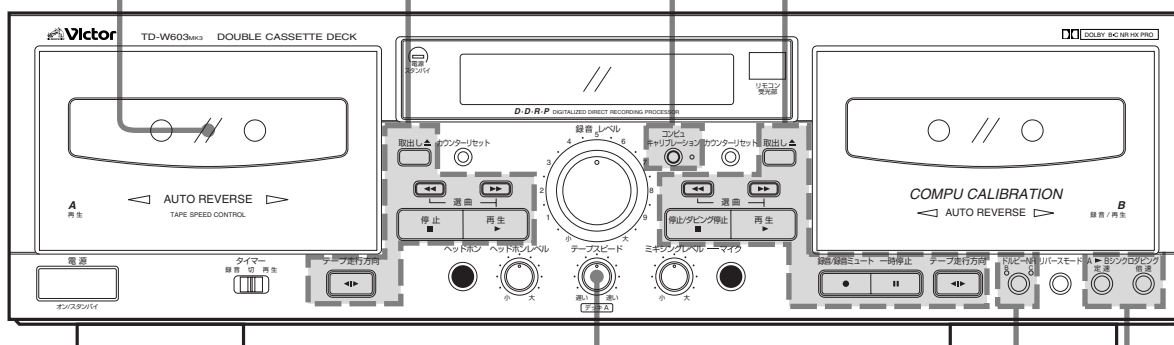
■ 停止 / ダビング停止
：ダビング中に押すとデッキA・Bが一緒に停止します。(➡**19**)

●録音 / 録音ミュート
：録音するときこのボタンを押しながら▶再生ボタンを押します。録音中に押すと約4秒のあき(ブランク)が作れます。(➡**18**)

II 一時停止
：テープ走行を一時的にとめるとき押します。(➡**15**) ▶ 再生ボタンを押すと解除されます。

・ 他のボタンはデッキAと同じ動きをします。

**カセットホルダー(デッキA)**

**コンピュキャリブレーションボタンとランプ(➡17)**

**テープスピードつまみ(デッキA)(➡12)**
デッキAで再生するときのテープ速度が変えられます。中央のクリック位置が標準スピードです。

**ドルビー NR(ノイズリダクション) ボタンとランプ**
**(➡12、15、19、20)**
テープのNRモードに合わせて使います。テープのヒスノイズ(シャーという音)を低減して録音・再生したいとき"B"または"C"のランプを点灯させます。

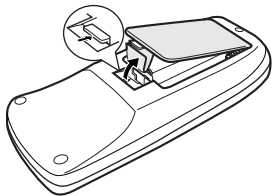
**シンクロダビングボタン(➡19、21)**
デッキAの音をデッキBに録音するとき使います。

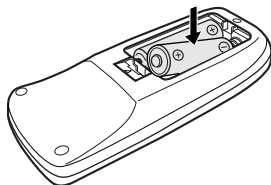
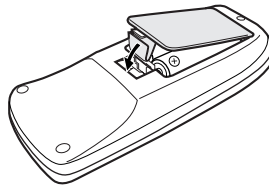
・ **定速**：音質を重視するとき
・ **倍速**：短い時間でダビングするとき

**■ダビングとは…**
一度テープに録音した音を、別のテープに再録音することをいいます。
良い音で録音するため、ダビングはマスターテープから録音しましょう。

# リモコンの使いかた

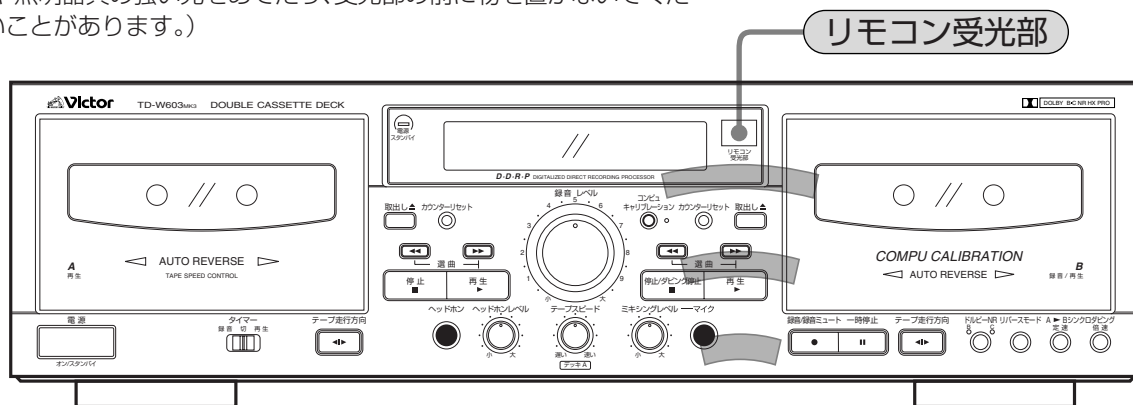
## 乾電池の入れかた

**1** 裏側のふたをあける

**2** 乾電池（単3形2本）を入れる

・リモコン内部の表示に合わせて正しく入れてください。

**3** ふたをしめる

● 乾電池を交換するには
マイナス（⊖）側に電池を押しながら取り出します。付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい単３形乾電池と交換してください

## リモコンの正しい使いかた

● 受光部に正しく向けてボタンを押します。
● 操作範囲は受光部正面より約7mの範囲ですが、斜めから操作すると短くなります。
● 受光部に直射日光や照明器具の強い光をあてたり、受光部の前に物を置かないでください。（動作しないことがあります。）

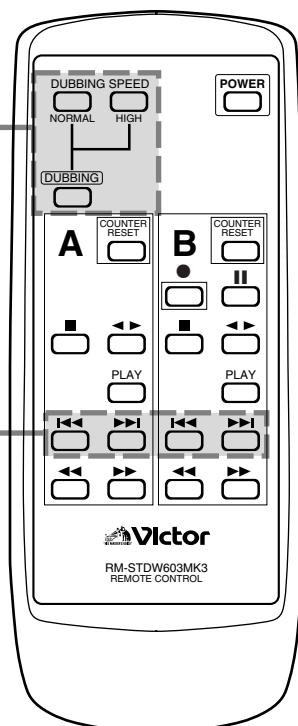
リモコン受光部

## 主なボタンの働き ―（ ）内のページに説明があります。―

**DUBBING（ダビング）ボタンとDUBBING（ダビング） SPEED（スピード）ボタン**

ダビングするときDUBBING（ダビング）ボタンを押しながらNORMAL（ノーマル）（定速）またはHIGH（ハイ）（倍速）ボタンを押します。（➡*19*）

**⏮ と ⏭（ミュージックスキャン）ボタン**

前後1曲の頭出し（ミュージックスキャン）ができます。（➡*14*）

※説明のないボタンは、本体（TD-W603MK3）と同じ機能を持っています。

■乾電池の交換時期（目安）は
リモコン操作のできる距離が短くなったり動作が不安定になってきたときは、電池が消耗しています。
２本とも新しい単３形乾電池（アルカリ乾電池など）と交換してください。

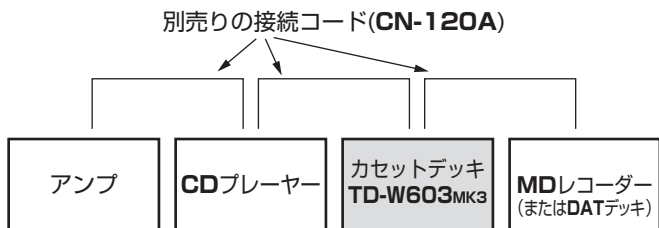
■乾電池の正しい使いかた
・ 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを表示通り正しく入れてください。
・ 新しい乾電池と一度使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
・ 長い間ご使用にならないときは、乾電池を取り出しておいてください。

# コンピュリンク機能について

## ● コンピュリンクとは

単品コンポーネントでありながら、一体型コンポのような簡単操作を可能にしたのが、コンピュリンク・リモート・コントロール・システム（略称：コンピュリンク）機能です。

**COMPU LINK-3 SYNCHRO** または **COMPU LINK-1 SYNCHRO** 端子を持つ各機器を相互に接続することにより、簡単操作が実現できます。

### 接続

当社製品のコンピュリンクには、「コンピュリンク **3**」と「コンピュリンク **1**」があります。コンピュリンク **3** は、コンピュリンク **1** に一部の機能を追加したもので、互換性があります。

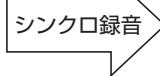
### ●シンクロ録音

ソースの再生開始に同期して録音が自動的に開始します。

**コンピュリンクの種類の見分けかた**

製品背面の端子に表示されています。たとえば、コンピュリンク－3 シンクロ または **COMPU LINK-3 SYNCHRO** と表示されている製品は、コンピュリンク**3**に対応しています。

### 操作のしかた

●シンクロ録音するには（➡ *15*）

例:CDプレーヤー ➡ カセットデッキ

**1.** CD プレーヤーに CD を入れる
- プログラム順に録音したいときはプログラムする。

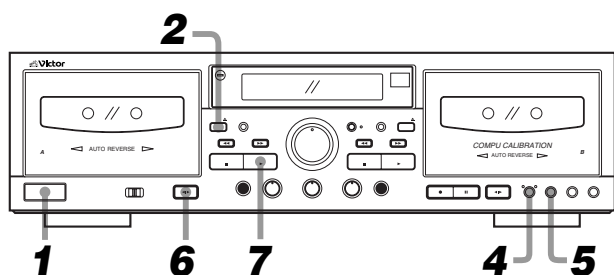
**2.** デッキ B に録音用のテープを入れる

**3.** デッキ B の● 録音／録音ミュートボタンと II 一時停止ボタンを同時に押して「録音・一時停止」にする
- 必ず停止状態から操作する。

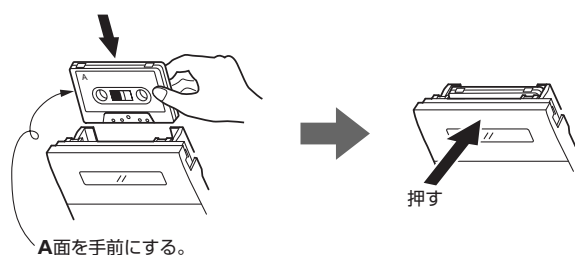
**4.** CD プレーヤーの PLAY ボタンを押す
- CD の演奏とデッキの録音が自動的にスタートします。当社の **XL-V313**（現在は販売されておりません）と接続してある場合、**DDRP** 機能により、自動的に最適なレベルで録音されます。➡ *18* ページ「DDRP 録音」参照

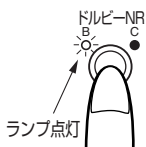
# テープを聞く（再生） －番号順に操作します－

**準備** ●デッキ**A**で聞く場合の操作です。デッキ**B**で聞くときは**2**～**6**の操作をそれぞれデッキ**B**で行います。

## 1 電源 オン/スタンバイ を押して電源を入れる

• 表示窓が点灯します。

## 2 取出し を押してカセットホルダーを開ける

## 3 A面を手前にしてテープを入れ、カセットホルダーを押して閉める

## 4 ドルビーNR を押してテープのNRモードに合わせる

例： ドルビー＊B NRを「ON」で再生するとき

ドルビーNR「OFF」➡ ドルビーB NR「ON」➡ ドルビーC NR「ON」➡（ドルビーNR「OFF」へ戻る）

• 押すごとにモードが切り換わります。

＊ドルビーノイズリダクション及びHX PROヘッドルームエクステンションは、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。HX PROはバングアンドオルフセンの考案です。
ドルビー、**DOLBY**、ダブル **D** 信号 ⅅ 及びHX PROはドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。

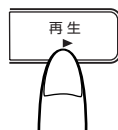
## 5 リバースモード を押してリバースモードを選ぶ

- ⇄ ： 片道の再生（終わるとテープは自動停止）
- ⇄ ： A面からB面へ往復再生（終わるとテープは自動停止）
- ⇄ ： 連続再生（デッキAとデッキBのくり返し再生が可能）

➡ ***13***ページ「コンテニュアスプレイ」参照

## 6 テープ走行方向 を押して聞きたい面に合わせる

- ▶ … **A**面（フォワード方向 順方向）
- ◀ … **B**面（リバース方向 逆方向）

## 7 再生 を押す ➡ 再生スタート

• 表示窓に「**PLAY**」が表示されます。

● ワンタッチでテープを再生するには

カセットテープが入っているとき ▶ 再生ボタンを押すと、自動的に電源が入り再生がスタートします。

● テープの速度を変えるには（デッキ A）

・テープスピードつまみで約±10%まで変えることができます。
普通は中央のクリック位置（標準スピード）でお使いください。

● 再生中にもう一方のデッキを再生状態にすると…

再生中のデッキは自動停止し、後から ▶ 再生ボタンを押した方のデッキの再生が始まります。

● 途中で再生をとめるには…

■停止ボタンを押します。

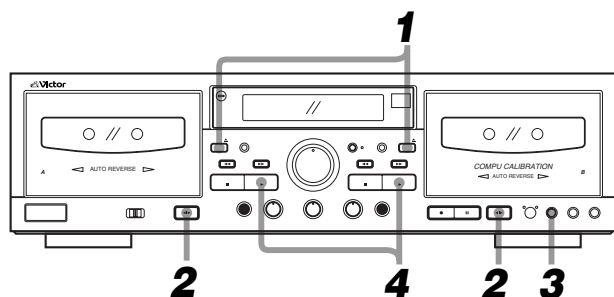
<お知らせ>

テープ走行中に**AC**電源が“**OFF(切)**”になる（またはコンセントから電源コードを抜く）と、テープの取り出しはできません。もう一度電源を入れてから取り出してください。

ドルビー**NR**システムを使用しないときは、**DOLBY NR**ボタンを押して NR モードを“**OFF**”（ボタンのランプが消えた状態）にしておきます。

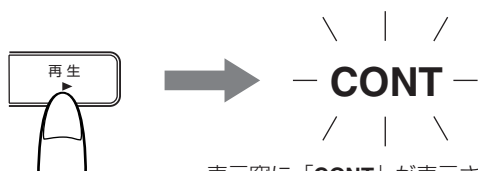
## コンテニュアスプレイ（連続再生）

### デッキA・Bの連続再生

デッキ**A**・**B**を交互にくり返して再生することをコンテニュアスプレイ（連続再生）といいます。

**1** デッキA・Bに聞きたいテープを入れる（A面を手前にして入れる）

**2** テープ走行方向 を押して「▷（フォワード方向）」にする

**3** リバースモード ◎ を押してリバースモードを「⊂⊃」にする

**4** 先に聞きたいほうの 再生 を押す
➡コンテニュアスプレイスタート

• 表示窓に「**CONT**」が表示されます。

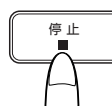
• デッキ**A**と**B**のテープ**A**・**B**面がくり返して再生されます。

デッキ**A**の**A**面 ➡ デッキ**A**の**B**面
⬆ ⬇
デッキ**B**の**B**面 ⬅ デッキ**B**の**A**面

• 待機中（再生待ち）のデッキのテープを交換することができます。

● テープのNRモードは…

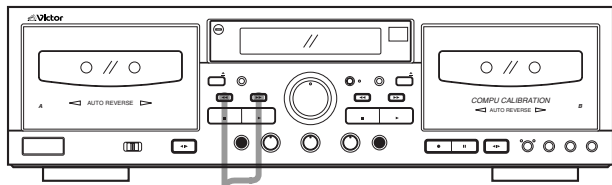
デッキA・Bとも同じNRモードのテープをお使いください。NRモードが違うときは、テープに合わせてドルビーNRを切換えてください。

● コンテニュアスプレイをやめるには…

・再生中のデッキの■停止ボタンを押します。
また、リバースモードを「 ⇄ 」にすると、テープの巻終わりで自動停止します。

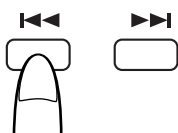
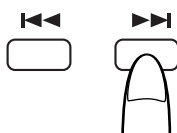
使いかた

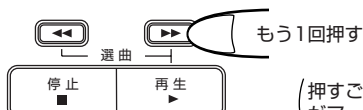
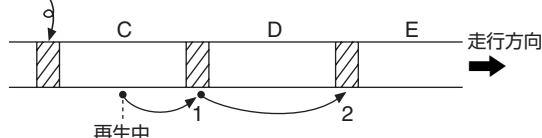
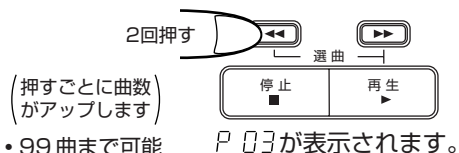
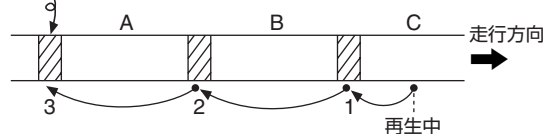
# テープを聞く（再生）（つづき）

## ミュージックスキャン（自動選曲）

曲と曲の間の何も録音されていないあき（4～5秒以上のブランク）の次にある曲の頭を探し出す機能のことです。前後99曲まで選曲できます。

例：デッキ A をフォワード方向で操作するとき

### 1 再生中に ▶▶ または ◀◀ を押す
（P 01が表示され1曲選曲になります）

● リモコンの場合
再生中または停止中に ▶▶| または |◀◀ を押す
（1曲選曲のみになります）

・巻戻し選曲
・早送り選曲

### 2 2～99曲まで選曲するときは、選曲中に ▶▶ または ◀◀ で飛越したい曲数を設定する

例：2つ後の曲を選曲するとき

例：2つ前の曲を選曲するとき

● リモコンの場合も ▶▶ または ◀◀ で曲数を設定してください。

### 3 設定した曲数の頭を検出すると自動的に再生が始まります

● ミュージックスキャンはデッキ**A**または**B**のいずれか一方で操作できます。

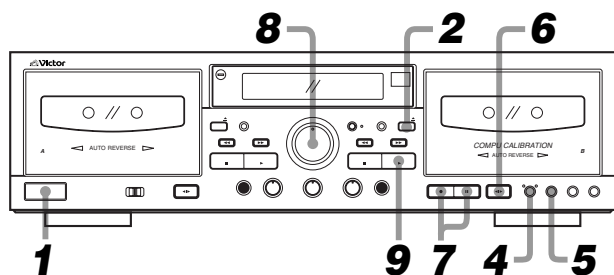
**ご注意**

● 次のような場合、ミュージックスキャンが正しく働かないことがありますが故障ではありません。
・曲間のあき（ブランク）が 4 秒以下のとき
・曲間に大きな雑音が録音されているとき
・左右のチャンネルに全く別の内容が録音されているとき
（音多カラオケテープや語学テープの先生と生徒の声など）
・ピアニシモのように非常に小さな音が続くとき

デッキ **B** の場合

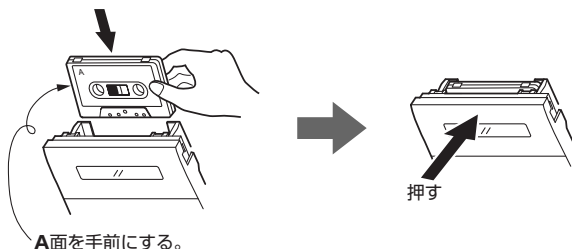
一時停止中に▶▶（または◀◀）ボタンを押すと、選曲が終わったあと一時停止状態に戻ります（ ❚❚ 表示が点灯）。ただし録音･一時停止中に操作すると早送り（巻戻し）になります。

# 録音する（デッキBを使います）　－番号順に操作します－

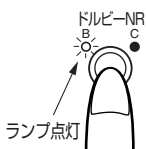
**準備**
- カセットの誤消去防止用のツメが折れていないことを確かめます。
- リーダーテープ（録音できない部分）は先に送っておきます。（➡ ***6***ページ）

## 1 電源 を押して電源を入れる

・表示窓が点灯します。

## 2 取出し を押してカセットホルダーを開ける

## 3 A面を手前にして録音したいテープを入れ、カセットホルダーを押して閉める

**A**面を手前にする。

## 4 ドルビーNR を押してテープのNRモードを決める

例： ドルビーB NRを「ON」で録音するとき

ドルビーNR「OFF」➡ ドルビーB NR「ON」➡ ドルビーC NR「ON」➡（ドルビーNR「OFF」へ戻る）

・押すごとにモードが切り換わります。

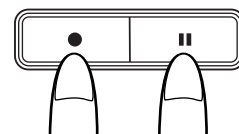
## 5 リバースモード を押して「⥂」または「⇄」にする

- ⥂ ：A面からB面への往復録音
- ⇄ ：片道の録音

（⟲ を選んでも録音中は ⥂ になります）

## 6 テープ走行方向 を押して録音する面に合わせる

- ▷ … **A**面（フォワード方向 順方向）
- ◁ … **B**面（リバース方向 逆方向）

## 7 録音/録音ミュート と 一時停止 を押して録音・一時停止にする

・表示窓に**REC**と**II**、**HX PRO**が表示されます。

## 8 録音レベル で録音レベルを調節する

・テープの種類に合わせてピークレベルメーターを以下のように点灯させる。

- ノーマルテープ（**TYPE** I）
  ハイポジションテープ（**TYPE** II）の場合

L – 30 20 15 12 10 8 6 0VU 2 0 2 4 6 + 8 dB
R

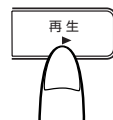
一番大きい音が入力されたとき、“0dB” が点灯するように合わせます。

- メタルテープ（**TYPE** IV）の場合

L – 30 20 15 12 10 8 6 0VU 2 0 2 4 6 + 8 dB
R

一番大きい音が入力されたとき、“+2dB” が点灯するように合わせます。

・DDRP録音（➡ ***18***ページ）のときは録音レベルの調節ができません。

## 9 再生 を押す ➡ 録音スタート

・表示窓の **II** が消えて「**PLAY**」が表示されます。

使いかた

## DOLBY NR システムについて

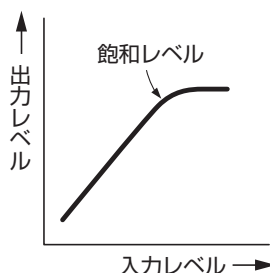
・サーというテープのヒスノイズを低減する目的で開発されたのがドルビーNRシステムです。
・ドルビーNRシステムのBタイプは一般普及用で、Cタイプは B タイプよりノイズ低減効果が高くなっています。
ドルビーNRシステムは、雑音が耳につきやすい高域の部分をやや強めて録音し、再生時にその分だけ弱めて元に戻します。このとき、テープのヒスノイズも一緒に弱めるため、音質は変化せずに、弱めた分だけノイズが低減されます。
高域だけのノイズを低減すると、中低域のノイズが目だつので、Cタイプでは、Bタイプよりも低い帯域からノイズ低減を行っています。
・録音時と再生時でドルビー**NR**のモードが異なりますと音質が変わりますのでご注意ください。
・ドルビー**NR**システムを使用しないときは、ドルビー**NR**ボタンを押して**NR**のモードを“**OFF**”（ボタンのランプが消えた状態）にしておきます。

## 上手な録音レベルの設定とは…

お使いになるテープの飽和レベル＊ぎりぎりに録音の最大レベルを合わせることです。

- 録音レベルが低すぎるとテープ特有の雑音（ヒスノイズ）が目立つ録音になります。
- 録音レベルが高すぎて飽和レベルを超えると音が割れたひずみの多い録音になります。

飽和レベルはテープの種類によって異なります。

＊飽和レベルとは…

録音入力をだんだん大きくしていくと、出力はこれに比例して大きくなります。しかし、ある一定のレベルに達すると出力はふえなくなり、それ以上の入力を加えると出力はひずんでしまいます。このときのレベルを飽和レベルといいます。

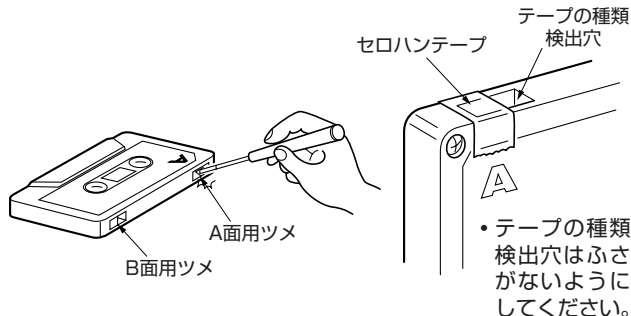
## ドルビー HX PRO とは…

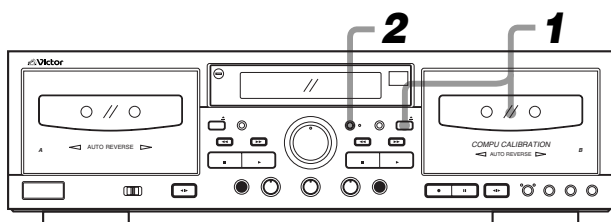
高域成分を多く含んだソースを録音すると、その高域信号がバイアスとして作用するため実効的なバイアス電流が変化してしまいます。このため、低域信号のレベルやひずみが変化したり、高域信号の飽和レベルが低くなってしまうなどの現象が生じます。
ドルビーHX PROは、入力信号の高域成分の変動に対応して実効バイアスが一定になるようバイアス電流をコントロールするシステムで、低域信号のレベルやひずみの変化を低減させるとともに、高域信号の飽和レベルを大幅に改善することができます。
・ ドルビーHX PROは、録音時に自動的に働きます。このシステムを使って録音したダイナミックな音は、ドルビーHX PROのないデッキで再生しても同じ効果が得られます。
・ドルビーHX PROはノイズリダクションではありません。

## 大切な録音を消さないために

カセットテープには誤消去防止用のツメ（タブ）がついています。

- ツメを折っておくと録音（消去）ができなくなり、誤って消してしまうことが防げます。
- 再び録音したいときはツメの穴をセロハンテープなどでふさぎます。

- テープの種類検出穴はふさがないようにしてください。

## コンピュキャリブレーション機能の使いかた

・カセットテープには様々な種類があり、同じメーカーの同じテープポジションのものでもその特性はわずかかずつ異なります。本機はオートテープセレクト方式により、それぞれのテープに合ったバイアス電流やイコライザー特性が得られますが、厳密にはこれで最適な録音特性が得られたとは言えません。お使いになるテープの特性を最大限に生かすには、テープごとに録音バイアス電流とテープ感度を補正するのが効果的です。
本機は、お使いになるテープごとに、約30秒で最適なバイアス電流とテープ感度に自動設定できるコンピュキャリブレーション機能を搭載しています。この設定はテープの種類（ノーマル、ハイポジ、メタルテープ）ごとに記憶されます。

### *1* 録音したいテープをデッキBに入れる

- テープの種類ごとに操作します。
- 誤消去防止用のツメが折れていないことを確かめます。
- コンピュキャリブレーションのランプが点灯するときは、すでに設定済みです。（変更するときも手順 ***2*** の操作へ）

### *2* コンピュキャリブレーション を押す

コンピュキャリブレーション ランプが点灯しているときは2回押します。

2秒間早送り

• **C ➡ CA ➡ CAL ➡ …**
（動作中、テープカウンターに表示されます）
リーダーテープの部分が早送りされます。

テストトーンを録音（モニターはできません）

テープが巻戻され、録音した内容を再生

⇩

スタート位置に戻り、バイアス電流とテープ感度を記録

ランプが点灯すると動作終了です。

- 一度設定すると、テープを入れ換えたり電源を切っても（プラグをコンセントから抜いても）記憶されています。

● テープの記憶を取り消す

**1.** 記憶を取り消したいテープを入れる

**2.** 録音/録音ミュート とデッキBの カウンターリセット を同時に押す

• 入れたテープの記憶が取り消されます

<お知らせ>

- コンピュキャリブレーション動作は、テストトーンを録音しますので、録音済みの部分があると消去されます。
- コンピュキャリブレーションをするときは、新しいテープの使用と事前にヘッドの清掃をお勧めします。
- テープの種類ごとに設定値は記憶されていますが､より正確な設定をしたいときは、録音するごとに設定し直してください。
- コンピュキャリブレーションのランプが点滅するときは、エラーが発生し設定できていません。もう一度コンピュキャリブレーションボタンを押してランプの点滅を消し、下記の内容を確認してください。

① ヘッドが汚れている ➡ ヘッドを清掃する。
② テープの表面にキズがある ➡ テープを交換する
③ 動作中にテープが巻終わった ➡テープの位置を変える。（再生状態で2分以上前の位置から操作する）
④ テープの特性によっては､コンピュキャリブレーションでは設定できないテープもあります。

使いかた

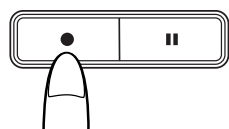
# 録音する（デッキBを使います）（つづき）

## 曲間にあき（ブランク）を作る

### 録音ミューティング

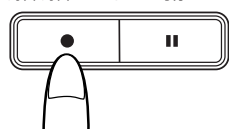
・録音中の不要な部分をカットしたり、曲間に適度なあき（ブランク）を作るときは、● **録音／録音ミュート**ボタンを使うと便利です。

● 録音中に約４秒の**あき**を作る

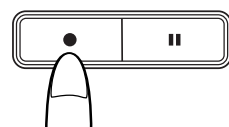
**あき**にしたいところで

・「ポン」と押して離す。

・約4秒後にテープが自動停止し録音・一時停止状態になります。

● 録音中に４秒以上の**あき**を作る

**あき**にしたいところで

・4秒以上押し続ける。

・指を離すとすぐにテープが自動停止し、録音・一時停止状態になります。

● ４秒以下の**あき**にする

・一時停止になる前に

•録音・一時停止になる前に ► 再生ボタンを押します。再び録音状態に戻ります。

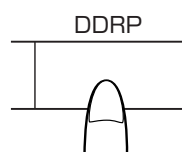
## DDRP 録音

### 録音レベルの自動調節

本機は、DDRP 機能を搭載したカセットデッキです。
当社の CD プレーヤー：XL-V313（現在は販売されておりません）と COMPU LINK-3 SYNCHRO 端子を相互に接続し、DDRP ＊機能を使って CD の録音をすると、最適な録音レベルに自動で設定されます。
この設定は、テープの種類（ノーマル、ハイポジ、メタルテープ）ごとに自動設定されますので、本機の録音レベル調節つまみの調節は必要ありません。

＊DDRP: Digitalized（デジタライズド） Direct（ダイレクト） Recording（レコーディング） Processor（プロセッサー）の略です。

**1.** 録音したいテープをデッキBに入れる

**2.** CDプレーヤー（当社のXL-V313）のDDRPボタンを押す

• **CD**の演奏がスタートし、**CD**のピークレベルを検索して録音レベルを設定します（約２分間）。
本機の表示窓に「**DDRP**」が表示されます。

レベルが設定できると

**3.** CDの演奏と本機の録音が自動でスタートします

⋮

• **CD** の演奏が終わるとデッキＢも自動停止します。

<お知らせ>

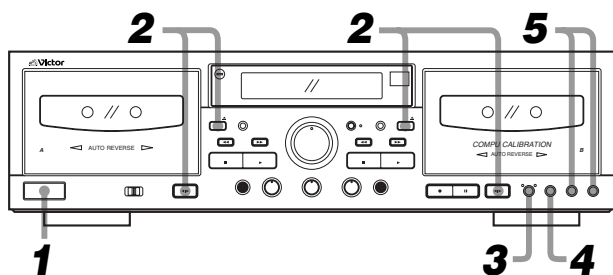
● **録音した音を消す（消去）**
録音済みのテープに新しく録音すると、前の音は自動的に消えて新しい録音のみになります。

● **無音テープにするには**
15ページの録音操作で **8** の録音レベル調節つまみを“**小**”位置にして録音します。

● **カウンターリセットボタンの使いかた**
録音する前にカウンターをリセットしておくと便利です。

・録音中、曲の頭のカウンター数字をメモしておきます。

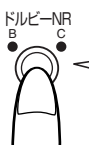
# ダビングをする（テープのコピー） －番号順に操作します－

**準備** ●あらかじめデッキ **A** で再生する曲の頭出し（ミュージックスキャン）をしておくと便利です。
●ダビングを始めるときは、デッキ **A**・**B** とも停止状態になっていることを確認してください。

## 1 電源 オン/スタンバイ を押して電源を入れる

• 表示窓が点灯します。

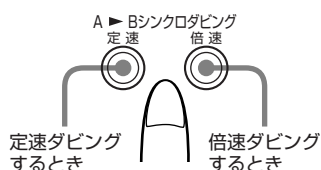
## 2 デッキA･Bにテープを入れ、テープ走行方向 を押して録音･再生する面に合わせる

• デッキ A に再生用のテープ、B に録音用のテープを入れる
• ▷ … **A** 面（フォワード方向）
• ◁ … **B** 面（リバース方向）

## 3 ドルビーNR を押して「OFF」にする

• 「OFF」にしても自動的に再生側のテープと同じ NR モードになります。

## 4 リバースモード を押して「⇄」または「⊃」にする

• ⇄ ：片道のダビング
• ⊃ ：A 面から B 面にまたがってダビング
（⟲ を選んでもダビング中は ⊃ になります）

## 5 定速 または 倍速 を押す➡ダビングスタート

定速ダビングするとき（**DUBBING>** と **HX PRO** が表示されます）
倍速ダビングするとき（**DUBBING>>** と **HX PRO** が表示されます）

• リモコンの場合は、**DUBBING**ボタンを押しながら**NORMAL**（定速）ボタンまたは**HIGH**（倍速）ボタンを押します。
• 録音レベルの調節は必要ありません。
デッキAのテープと同じレベルでダビングされます。できるだけ、デッキA･Bとも同じ種類のテープをお使いください。

● シンクロダビングとは…

デッキ**A**の再生開始に同期してデッキ**B**の録音が開始することをシンクロダビングといいます。定速又は倍速のいずれかが選択できます。

● ダビング中にデッキ A をとめると…

デッキ**B**は自動的に**4**秒の**あき**（ブランク）を作ったのち録音・一時停止状態になります。
この間、デッキ A のテープを交換することもできます。
再びダビングをするときは、定速または倍速ボタンを押します。

● 途中でダビングを止める…

デッキ **B** の■停止／ダビング停止ボタンを押します。
デッキ**B**が先に自動停止したときもダビングが解除されます。

<お知らせ>

● **ダビング中の音を聞きたいときは…**
接続しているステレオアンプ等をテープ再生のモードにします。

● **倍速ダビング時はテープスピードつまみが働きません。**

● **ダビング中の注意**
ご使用になっているテレビによっては、倍速ダビング時に妨害（ピー音）を受けることがあります。このようなときはテレビの電源スイッチを切るか、または定速ダビングにしてご使用ください。

● **音質を重視するときは定速ダビングをおすすめします。**

# マイクミキシングをする　ー番号順に操作しますー

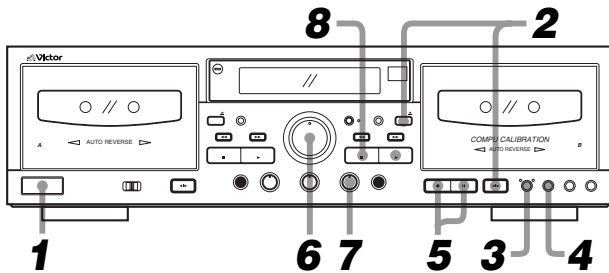
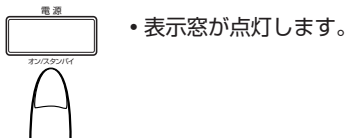
●マイクをつないでおく。➡ 7ページ参照
●接続したステレオアンプ等を操作し、ミキシングしたい機器の音を出す。

## ライン入力の音とミキシング録音

### 1 電源（オン/スタンバイ）を押して電源を入れる

• 表示窓が点灯します。

### 2 録音用のテープを入れ テープ走行方向 を押して、録音する面に合わせる

• ▷ … A面（フォワード方向 順方向）
• ◁ … B面（リバース方向 逆方向）

### 3 ドルビーNR を押してテープのNRモードを決める

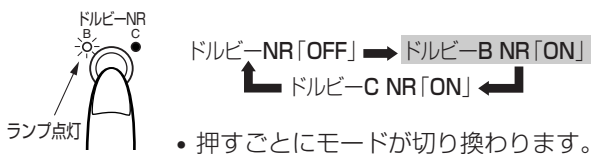
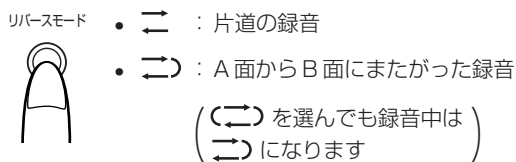
例： ドルビーB NR「ON」のとき

ドルビーNR「OFF」➡ ドルビーB NR「ON」➡ ドルビーC NR「ON」➡

• 押すごとにモードが切り換わります。

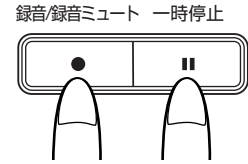
### 4 リバースモード を押して「⇄」または「⊂⊃」にする

• ⇄ ：片道の録音
• ⊂⊃ ：A面からB面にまたがった録音

（⊂⊃ を選んでも録音中は ⊃ になります）

### 5 録音/録音ミュート と 一時停止 を押して「録音・一時停止状態」にする

・表示窓に RECと ▮▮、HX PROが表示されます。

### 6 録音レベル で録音レベルを調節する

➡ 15ページの手順 8 参照

• ライン入力の音に対し、テープの種類に合わせて録音レベルを調節する。

### 7 ミキシングレベル を回してマイク音量を調節する

• マイクの音量を、ピークレベルメーターの点灯状態を見ながら適度に調節する。

### 8 再生 を押す ➡ ミキシング録音スタート

• マイクの音は、スピーカーから出ません。

● マイクの音だけ録音する

上記手順6の操作のとき、入力レベル調節つまみを「小」位置にして録音するとマイクの音だけ録音することができます。

● 拡声器として使う

上記手順7の操作まで行い、録音・一時停止状態のままで使います（録音状態にすると、スピーカーからマイクの音は出なくなります）。この場合、ステレオアンプ等のソース（音源）は「テープ」に切換えておきます。

● 途中でミキシング録音をやめる

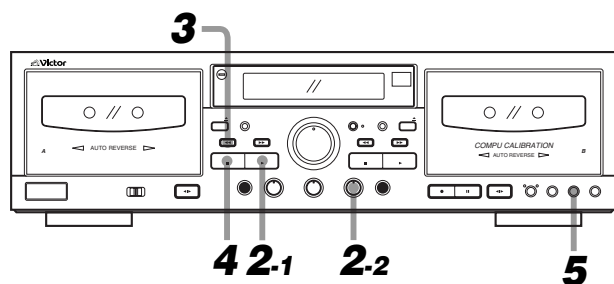
デッキBの ■停止／ダビング停止ボタンを押します。

<お知らせ>

● マイク正しい使い方
・マイクは口元から2～3cm位離して使いましょう。
・マイクを吹いたりたたくと故障の原因になりますのでやめましょう。

● スピーカーから「ピー」という音が出るときは、マイク音量を下げるかスピーカーから離して使います。

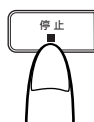
## テープ再生の音とミキシング録音

### マイクミキシングダビング

**1** 「ダビングする」(➡**19**ページ)の手順 **1**～**4**の操作をする

**2** 再生 ▶ を押してテープを再生し、ミキシングレベル を回してマイク音量を調節する

音量調節ができたら

**3** ◀◀ を押して再生する曲の頭出しをする

**4** 停止 ■ を押してテープを止める

- テープが止まったことを確認する。

**5** 定速 を押す ➡ マイクミキシングダビングスタート

- 必ずテープ停止状態のとき操作してください。テープが走行していると、ダビングボタン（定速または倍速）を押しても受け付けません。

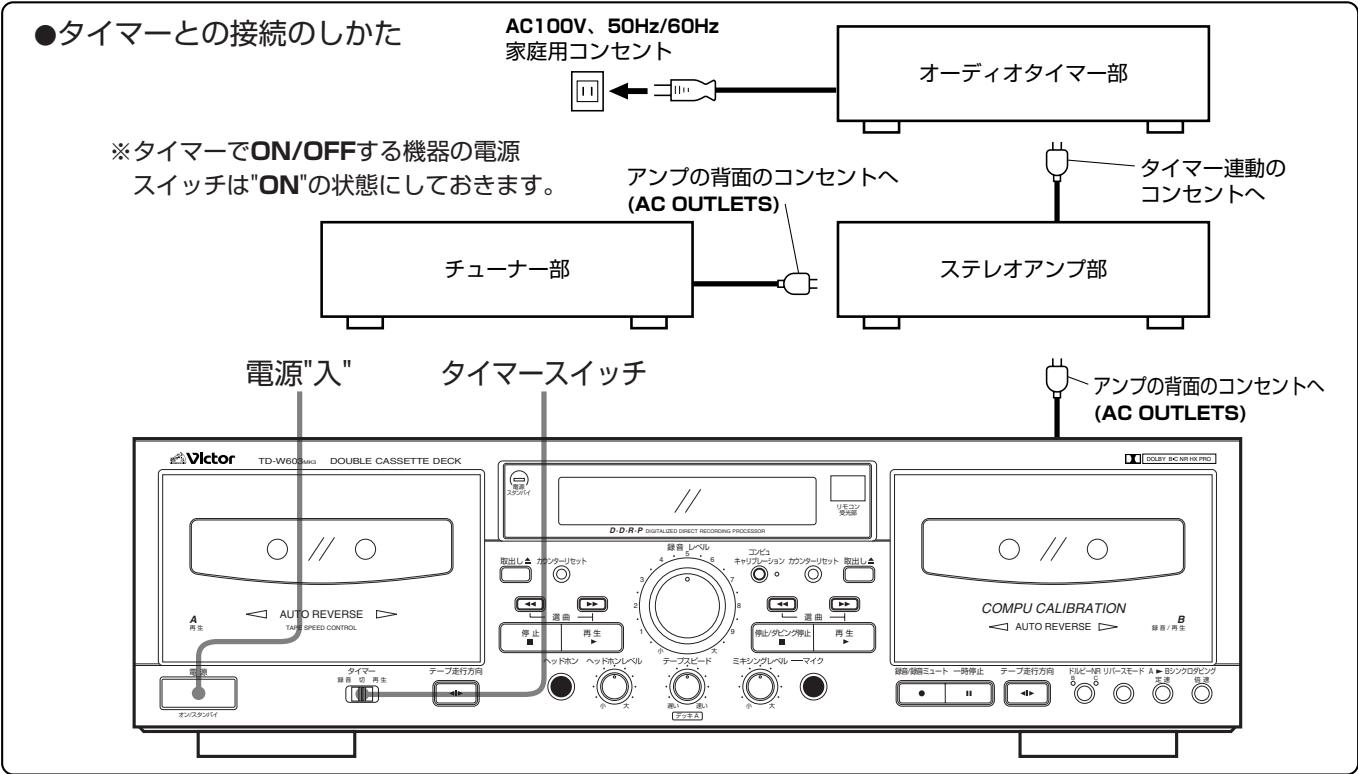
● 途中でミキシング録音を止める

デッキ**B**の ■停止／ダビング停止ボタンを押します。

● テープ再生の音とカラオケだけを楽しむ

左記の手順 **2**まで操作し、曲に合わせて歌います。
テープスピードつまみを調節すると、音程を変えることができます。

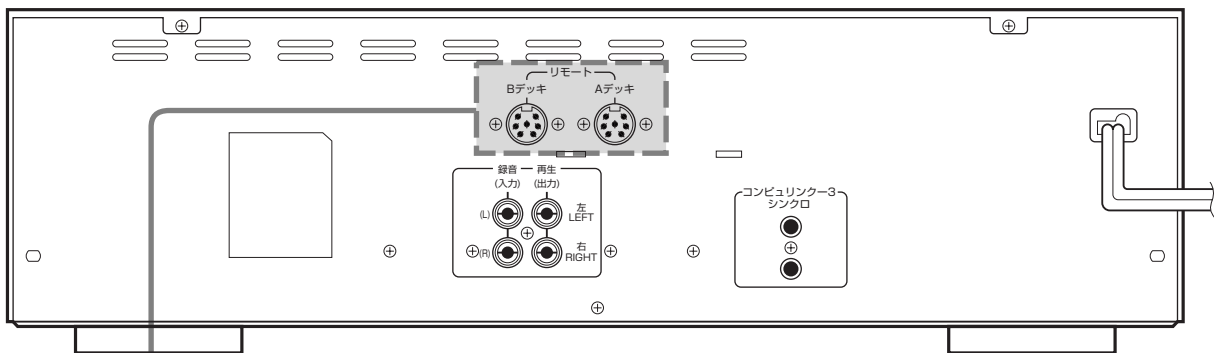
# 留守録音・目覚まし再生

- 市販のオーディオタイマーを使って、お好きな時刻に録音または再生が楽しめます。
- お使いになる前に、タアイマーの取扱説明書も併せてご覧ください。
- ツメの折れているカセットでは留守録音できません。

| 手　順 | 留守録音するには（タイマー録音） | 目覚まし再生するには（タイマー再生） |
|---|---|---|
| **1** タイマーの操作 | •タイマーに接続した機器の電源スイッチが、すべて“**ON**（入）”になっているか確認します。<br>•タイマーを操作して各機器の電源を入れます。 | |
| **2** アンプ･チューナーの操作 | •アンプのソースセレクターを **TUNER**（チューナー）にします。<br>•録音したい放送局を受信します。 | •アンプの音量を調節します。<br>•テープ再生のモードにします。 |
| **3** デッキの操作 | •録音用テープを入れ、録音のための操作をします。➡**15**ページ参照 | •聞きたいテープを入れ、再生のための操作をします。➡**12**ページ参照 |
| **4** タイマーの操作 | •タイマーを操作し、録音や再生の開始時刻と、終了時刻を予約します。<br>録音するときは前後に１分程度の余裕をとってください。<br>•接続した各機器の電源が切れたことを確認します。 | |
| **5** デッキの操作 | •タイマースイッチを“**録音**”側にします。<br>タイマー<br>録音　切　再生<br>•タイマーを合わせた時刻に「**録音**」がスタートします。 | •タイマースイッチを“**再生**”側にします。<br>タイマー<br>録音　切　再生<br>•タイマーを合わせた時刻に「**再生**」がスタートします。 |

■ タイマー再生は、デッキＢが優先して動作します。
ただし、デッキAにのみテープが入っているときは、デッキAが動作します。

■ タイマーで電源が切れると、カウンター数字は 0000 にリセットされます。
■ 使い終わったらタイマースイッチは、必ず“切”位置に戻しておいてください。

# リモート端子について

● このリモート端子を利用すると、外部に設置したリモートコントロール用スイッチで録音、再生、早巻き、一時停止およびテープ走行方向の切換えがリモート操作できます。

リモコンのプラグはUタイプに限り使えます

• リモート端子*とその機能（本体と同じになります）

| 端子番号 | 機　　能 | デッキA | デッキB |
|---|---|---|---|
| ① | 停止(■) | ○ | ○ |
| ② | アース(GND) | ○ | ○ |
| ③ | 再生(▶) | ○ | ○ |
| ④ | 一時停止(❚❚) | − | ○ |
| ⑤ | 早巻き(▶▶) | ○ | ○ |
| ⑥ | 早巻き(◀◀) | ○ | ○ |
| ⑦ | 録音／録音ミュート(●) | − | ○ |
| ⑧ | テープ走行方向(◀❚▶) | ○ | ○ |

＊ リモート端子を利用するときは…
ビクターサービス窓口(➡***27***ページ)にお問い合わせください。
**(プラグの部品番号：TCP-1387-71-5011)**

● リモートコントロール用のスイッチは…

各端子と②アース（GND）端子を接続することで、その間、接続した端子のカセット操作ボタンが押されたのと同じ状態にします。スイッチは１秒程度ONになるようにしてください。

・②アース（GND）端子以外は、開放状態でDC 5Vを出力しています。アース端子と接続したときは、最大で約1mAの電流が流れます。

■ ダビングの操作は、リモート操作できません。
■ デッキA・Bは、別々のリモートコントロール用スイッチでコントロールしてください。

# お手入れのしかた

## ヘッド部の清掃について

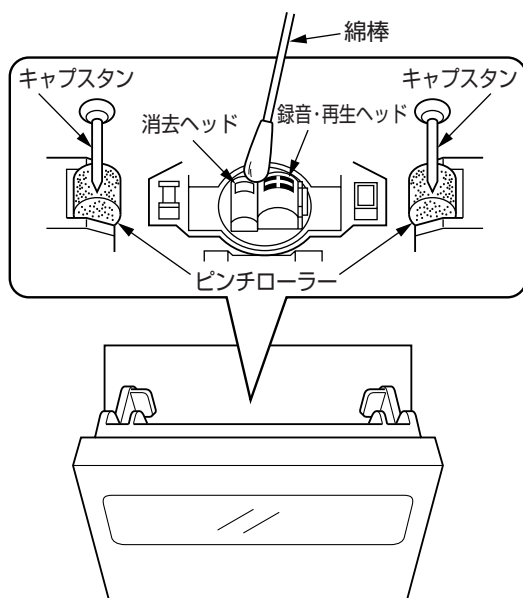
ヘッド部とキャプスタン、ピンチローラーは常にテープが接触して走りますから、磁粉やゴミ、ホコリなどが付着してよごれてきます。よごれがひどくなると

- **音質が悪い。**
- **音が小さい。**
- **録音ができない。**
- **前の音が消えないで残る。**

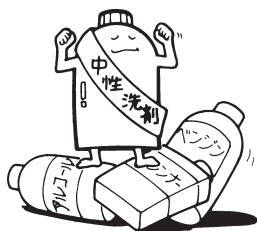
などの症状がでます。大切な録音を失敗しないためにも、症状がでてくる前に、定期的に（約10時間使うごと）にヘッド部を清掃することをおすすめします。

- 清掃のしかた

  市販のクリーニングキットの綿棒にクリーニング液をしみ込ませて、ヘッドやキャプスタン、ピンチローラーなどのよごれをふきとります。

**例：デッキBの場合**

この場合、内部についたアルコールなどが十分に乾いてからカセットテープを入れてください。

## キャビネットの清掃

キャビネットがよごれたら中性洗剤などでよごれを落し、かわいた布でふき取ります。
シンナーやベンジンなどでふきますと、「ひび割れ」や「変色」を起こすことがありますので使用しないでください。

■ キャビネット等の清掃に化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書きに従ってお使いください。

# 著作権について

あなたがテープレコーダーで録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

放送やレコード、CD、テープなどの音楽作品は、音楽の歌詞や楽曲と同じく著作権法により保護されています。したがって、次のような場合には著作権法上、権利者の許諾が必要です。

- 放送やレコード、CD、テープなどから録音したテープを売る、配る、譲るまたは貸したりするとき
- 営利（店のBGMなど）のためにレコード、CD、テープなどを演奏するとき

詳しい内容や申請、その他の手続きについては「日本音楽著作権協会：JASRAC（ジャスラック）」にお問い合わせください。

社団法人 日本音楽著作権協会（音権協）
〒151-8540東京都渋谷区上原3-6-12
☎(03)3481-2121　FAX(03)3481-2150

**支部連絡先一覧　(　)内は管轄地域**

**■北海道支部**(北海道)
☎(011)221-5088　FAX(011)221-1311
**■盛岡支部**(青森、岩手、秋田)
☎(019)652-3201　FAX(019)652-4010
**■仙台支部**(宮城、山形、福島)
☎(022)264-2266　FAX(022)265-2706
**■長野支部**(長野)
☎(026)225-7111　FAX(026)223-4767
**■大宮支部**(埼玉、栃木、群馬、新潟)
☎(048)643-5461　FAX(048)643-3567
**■上野支部**(台東、文京、荒川、葛飾、足立、北各区、茨城)
☎(03)3832-1033　FAX(03)3832-1040
**■東京支部**(千代田、中央、港、墨田、江東、品川、大田、江戸川各区、島しょ部、千葉)
☎(03)3562-4455　FAX(03)3562-4457
**■西東京支部**(新宿、目黒、世田谷、渋谷、中野、杉並、豊島、板橋、練馬各区)
☎(03)5321-9530　FAX(03)3345-5750
**■東京イベント・コンサート(EC)支部**(東京、千葉、茨城、山梨のイベント、コンサート関係)
☎(03)5321-9881　FAX(03)3345-5760
**■立川支部**［東京都市部、郡部(島しょ部を除く)、山梨］
☎(0425)29-1500　FAX(0425)29-1515
**■横浜支部**(神奈川)
☎(045)662-6551　FAX(045)662-6548
**■静岡支部**(静岡)
☎(054)254-2621　FAX(054)254-0285
**■中部支部**(愛知、岐阜、三重)
☎(052)583-7590　FAX(052)583-7594
**■北陸支部**(石川、富山、福井)
☎(076)221-3602　FAX(076)221-6109
**■京都支部**(京都、滋賀、奈良)
☎(075)251-0134　FAX(075)251-0414
**■大阪支部**(大阪、和歌山)
☎(06)6244-0351　FAX(06)6244-1970
**■神戸支部**(兵庫)
☎(078)322-0561　FAX(078)322-0975
**■中国支部**(広島、岡山、山口、鳥取、島根)
☎(082)249-6362　FAX(082)246-4396
**■四国支部**(香川、徳島、高知、愛媛)
☎(087)821-9191　FAX(087)822-5083
**■九州支部**(福岡、佐賀、長崎、熊本、大分)
☎(092)441-2285　FAX(092)441-4218
**■鹿児島支部**(鹿児島、宮崎)
☎(099)224-6211　FAX(099)224-6106
**■那覇支部**(沖縄)
☎(098)863-1228　FAX(098)866-5074

受付時間　9：30～17：30(土・日・祝日を除く)

# 故障かな？と思う前に

カセットデッキの具合が悪いとき故障かな？と思ったら…

修理を依頼される前に、まず次の項目をお確かめください。
それでも直らないときは故障によることが考えられますので、お買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口までご連絡ください。

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| **録音ができない。** | • カセットのツメ（誤消去防止用）が折られている。 | • テープを交換するか、録音内容を消しても良い場合はツメの穴をセロハンテープでふさぐ。 | **16** |
| | • 録音レベル調節つまみが絞ってある。 | • 適度なレベルに調節する。 | **15･16** |
| **テープが走行しない。** | • ❚❚一時停止ボタンが押され、表示窓に❚❚が表示されている。 | • ▶再生ボタンを押して一時停止を解除する。 | **9** |
| **テープは走行するが再生音がでない。** | • ピンコードが正しく接続されていない。<br>• コンピュリンクのコードが外れている。<br>• アンプの音量つまみが最小になっている。 | • 奥までしっかり差し込む。<br>• 正しく接続する。<br>• 適当な音量に調節する。 | **7** |
| **ミュージックスキャン（自動選曲）がうまく動作しない。** | • 曲間のブランクが短すぎる（3秒以下）。またはブランク部分に雑音が多い。 | • テープを交換してみる。 | **14** |
| **音が小さい。**<br>**音がふるえたり途切れる。** | • ヘッドやピンチローラー、キャプスタンが汚れている。 | • クリーニングする。 | **24** |
| **前の録音が消えないで残る。** | • 消去ヘッドが汚れている。 | • 消去ヘッドをクリーニングする。 | **24** |
| **音質が良くない。**<br>**（高音がでない。）** | • NR（ノイズリダクション）のモード設定が違う。 | • 録音時のモードに合わせて再生する。 | **12** |
| **雑音（ハム音）がでる。** | • デッキをアンプの上または下にじかに置いている。 | • アンプから離して設置する。 | **7** |
| **電源が入ると再生（または録音）がスタートする。** | • タイマースイッチが“再生（または録音）”位置になっている。 | • タイマー再生（またはタイマー録音）を利用しないときは“切”の位置にしておく。 | **22** |

## 本機の操作について

本機はマイクロコンピューターの働きで、多くの動作を行なっております。各項目の説明文･注意文を、よくお読みなって正しくお使いください。
操作によっては正常な動作をしないことがありますが、このようなときは一度電源コードをコンセントから抜き、しばらく待って再び電源を入れると正しく動作します。

・大切な録音の場合は、必ず事前に試し録音をして正常に録音されているかお確かめください。
・万一、本機およびカセットテープなどの不具合により、正常に録音されなかったり、再生できなくなった場合、その内容の補償についてはご容赦ください。

■ 本機を極端に寒い所から暖かい場所へ急に移したとき、正常に動作しないことがあります。これは本機の内部に露（つゆ）が発生したためで、数時間しますと正常にもどります。

# 保証とアフターサービス（必ずお読みください）

## 保 証 書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

**保証期間**
**お買い上げの日から１年間**

## 補修用性能部品の最低保有期間

**ダブルカセットデッキ**の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**または別紙の「**ビクターサービス窓口案内**」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

## 修理を依頼されるときは　出張修理

***25***ページの「**故障かな？と思う前に**」に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口に修理をご依頼ください。

### 保 証 期 間 中 は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

### ご連絡していただきたい内容

| 品名 | ダブルカセットデッキ |
|---|---|
| 型名 | TD-W603MK3 |
| お買い上げ日 | 年　月　日 |
| 故障の状況 | できるだけ具体的に |
| ご住所 | 付近の目印等も併せてお知らせください |
| お名前 | |
| 電話番号 | |
| 訪問ご希望日 | |

| 便利メモ | お買い上げ店名 | ☎（　　）　－ |
|---|---|---|

### 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

### 修 理 料 金 の 仕 組 み

| 技術料 | 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障診断、修理および部品交換、調整、点検にかかる費用です。 |
|---|---|

＋

| 部品代 | 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。 |
|---|---|

＋

| 出張料 | 製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。 |
|---|---|

| 最寄りのビクターサービス窓口 | ☎（　　）　－ |
|---|---|

**■保守・点検**
本機の性能を維持するため、長時間連続してお使いになる場合、およそ1年使用をめどに「保守・定期点検」を受けることをお勧めします。なおこの時間は使用環境（温度、湿度、ホコリ）等に左右されます。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

# ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

## ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

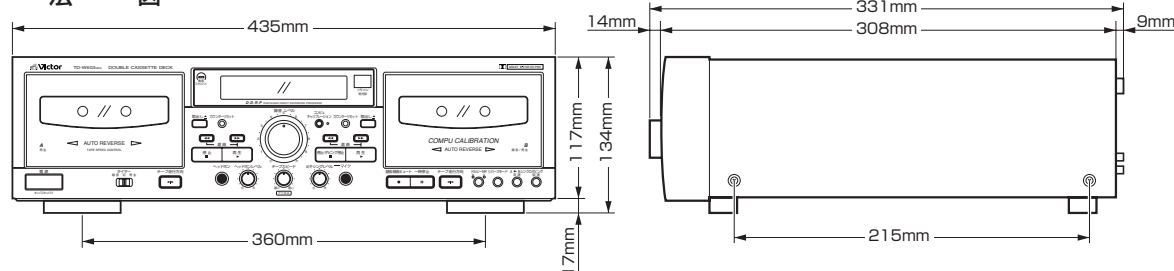
| 都道府県名 | 窓口名 | TEL | 所在地 |
|---|---|---|---|
| **北海道** | | | |
| 北海道 | 札幌 S.C. | (011) 898-1180 | 札幌市厚別区厚別東五条1-2-29 |
| | 旭川 S.C. | (0166) 61-3659 | 旭川市神居二条3-2-15 |
| | 北見 S.S. | (0157) 25-8557 | 北見市山下町4-7-19 |
| | 釧路 S.S. | (0154) 24-0797 | 釧路市松浦町3番3号 |
| | 帯広 S.S. | (0155) 24-4493 | 帯広市東6条南12-11 |
| | 函館 S.S. | (0138)52-5324 | 函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F |
| **東北** | | | |
| 青森 | 青森 S.C. | (017) 723-2261 | 青森市桂木4-6-17 |
| | 八戸 S.S. | (0178) 44-4521 | 八戸市諏訪2-2-36 |
| | 弘前 S.S. | (0172) 28-0165 | 弘前市高田1-13-1 |
| 岩手 | 盛岡 S.C. | (019) 637-0121 | 盛岡市津志田9地割24-1 |
| | 水沢 S.S. | (0197) 22-2773 | 水沢市天文台通り3-12 |
| 秋田 | 秋田 S.C. | (018) 824-3189 | 秋田市山王中園町4-1 |
| | 大館 S.S. | (0186) 43-0980 | 大館市美園町5-6 |
| | 横手 S.S. | (0182) 32-8873 | 横手市赤坂字大道向3-6 |
| 宮城 | 仙台 S.C. | (022) 287-0151 | 仙台市若林区六丁の目西町7-13 |
| 山形 | 山形 S.C. | (023) 642-0279 | 山形市松山3-12-18 |
| | 酒田 S.S. | (0234) 26-7145 | 酒田市亀ヶ崎6-6-1 |
| 福島 | 郡山 S.C. | (024) 952-6331 | 郡山市堤1-3 |
| | いわき S.S. | (0246) 27-7991 | いわき市内郷御台境町鶴巻6-1 |
| **関東・甲信越** | | | |
| 群馬 | 前橋 S.C. | (027) 255-5921 | 前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場第二棟1F |
| 栃木 | 宇都宮 S.C. | (028) 638-1639 | 宇都宮市東宿郷3-5-22 |
| 茨城 | 水戸 S.C. | (029) 246-1560 | 水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F |
| 千葉 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | |
| | 首都圏サービスセンター | (03) 5803-2888 | 浦安市当代島2-13-27 |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | |
| | 千葉 S.C. | (043) 246-2588 | 千葉市美浜区幸町2-1-1 |
| | 柏 S.C. | (04) 7175-4322 | 柏市豊四季512-10-67 |
| | 浦安 S.S. | (047) 353-6189 | 浦安市当代島2-13-27 |
| 東京 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | |
| | 首都圏サービスセンター | (03) 5803-2888 | 浦安市当代島2-13-27 |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | |
| | 本郷 S.C. | (03) 5684-8254 | 文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F |
| | 練馬 S.C. | (03) 3993-7520 | 練馬区豊玉南1-19-1 |
| | 大田 S.C. | (03) 3727-9385 | 大田区北千束2-20-6 |
| | 八王子 S.C. | (0426) 46-6914 | 八王子市大和田町2-9-6 |
| | 【業務用機器専門】のご相談窓口 | | |
| | CSセンター | (03) 3874-5231 | 台東区根岸5-4-3 |
| 埼玉 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | |
| | 首都圏サービスセンター | (03) 5803-2888 | 浦安市当代島2-13-27 |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | |
| | 大宮 S.C. | (048) 654-5241 | さいたま市北区東大成町2-658-1 |
| | 熊谷 S.S. | (048) 553-5105 | 行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B |
| 神奈川 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | |
| | 首都圏サービスセンター | (03) 5803-2888 | 浦安市当代島2-13-27 |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | |
| | 横浜 S.C. | (045) 651-0403 | 横浜市中区翁町1-3-1 |
| | 川崎 S.C. | (044) 975-1879 | 川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル） |
| | 平塚 S.C. | (0463) 36-2160 | 平塚市南原2-4-5 |
| | 相模原 S.C. | (042) 776-2052 | 相模原市古淵3-7-4 |
| | 横浜 T.C. | (046) 234-4500 | 海老名市東柏ヶ谷6-19-26 |
| 山梨 | 甲府 S.S. | (055) 237-4016 | 甲府市湯田2-11-5 |
| 新潟 | 新潟 S.C. | (025) 242-3431 | 新潟市明石1-2-19 |
| | 長岡 S.S. | (0258) 24-8391 | 長岡市下下条2-1366-1 |
| 長野 | 長野 S.C. | (026) 221-6583 | 長野市川合新田962-1 |
| | 松本 S.S. | (0263) 25-9165 | 松本市庄内2-4-21 |
| **東海** | | | |
| 静岡 | 静岡 S.C. | (054) 282-4141 | 静岡市中田本町62-31 中田ビル1階 |
| | 沼津 S.S. | (055) 922-1557 | 沼津市筒井町6-5 |
| | 浜松 S.S. | (053) 421-3441 | 浜松市北島町785 |
| 愛知 | 名古屋 S.C. | (0568) 25-3235 | 西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1 |
| | 三河 S.C. | (0564) 25-0321 | 岡崎市葵町2-23 宝ビル101号室 |
| | 豊橋 S.S. | (0532) 64-0815 | 豊橋市多米東町1-1-1 |
| 岐阜 | 岐阜 S.S. | (058) 274-1947 | 岐阜市宇佐南3-1-28 |
| 三重 | 三重 S.S. | (0593) 52-0841 | 四日市市堀木2-15-2 |
| | 津 S.S. | (059) 229-7780 | 津市大字藤方485-18 |

| 都道府県名 | 窓口名 | TEL | 所在地 |
|---|---|---|---|
| **北陸** | | | |
| 富山 | 富山 S.S. | (076) 425-2397 | 富山市二口町四丁目1-3 |
| 石川 | 金沢 S.C. | (076) 269-4821 | 金沢市新保本四丁目65-17 |
| 福井 | 福井 S.S. | (0776) 53-6916 | 福井市西開発3-211 |
| **近畿** | | | |
| 滋賀 | 滋賀 S.S. | (077) 582-5812 | 守山市浮気町268 |
| 京都 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | |
| | 大阪 S.C. | (06) 6304-5731 | 大阪市淀川区田川2-4-28 |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | |
| | 京都 S.C. | (075) 644-0247 | 京都市伏見区深草下川原町31-1 |
| 京都北部 | 福知山 S.S. | (0773) 22-8664 | 福知山市厚東町145-2 |
| 奈良 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | |
| | 大阪 S.C. | (06) 6304-5731 | 大阪市淀川区田川2-4-28 |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | |
| | 奈良 S.C. | (0742) 35-0935 | 奈良市大宮町6-3-10藤本ビル1F |
| 大阪 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | |
| | 大阪 S.C. | (06) 6304-5731 | 大阪市淀川区田川2-4-28 |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | |
| | 大阪 S.C. | (06) 6304-5731 | 大阪市淀川区田川2-4-28 |
| | 堺 S.C. | (072) 254-2881 | 堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ |
| | 【業務用機器専門】のご相談窓口 | | |
| | メンテナンスセンター | (06) 6304-6715 | 大阪市淀川区田川2-4-28 |
| 和歌山 | 和歌山 S.S. | (073) 472-6799 | 和歌山市太田430-8 |
| | 田辺 S.S | (0739) 22-9976 | 田辺市湊1581-12 |
| 兵庫中東部 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | |
| | 大阪 S.C. | (06) 6304-5731 | 大阪市淀川区田川2-4-28 |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | |
| | 神戸 S.C. | (078) 252-0562 | 神戸市中央区磯上通3-2-16 |
| 兵庫西部 | 姫路 S.S. | (0792) 34-3833 | 姫路市中地南町11-1 |
| **中国** | | | |
| 岡山 | 岡山 S.C. | (086) 243-1566 | 岡山市西古松西町8-23 |
| 広島 | 広島 S.C. | (082) 243-9839 | 広島市中区光南3-9-17 |
| | 福山 S.S. | (084) 931-6984 | 福山市南蔵王町3-5-15 |
| 山口 | 山口 S.C. | (083) 973-3708 | 吉敷郡小郡町花園町5-28 |
| | 徳山 S.S. | (0834) 27-1331 | 周南市野上町2-35 |
| 島根 | 山陰ビクター販売（株） 松江 S.C. | (0852) 31-8900 | 松江市学園1-16-39 |
| 鳥取 | 山陰ビクター販売（株） 鳥取 S.S. | (0857) 23-2151 | 鳥取市千代水1丁目22-1 |
| **四国** | | | |
| 香川 | 高松 S.C. | (087) 866-1200 | 高松市田村町205-1 |
| 徳島 | 徳島 S.S. | (088) 622-7387 | 徳島市沖浜2-37 |
| 高知 | 高知 S.S. | (088) 882-0546 | 高知市高須新町4-1-43 |
| 愛媛 | 松山 S.C. | (089) 923-0372 | 松山市中央1-4-12 |
| | 宇和島 S.S. | (0895) 20-1018 | 宇和島市坂下津甲407-40 |
| **九州・沖縄** | | | |
| 福岡佐賀 | 福岡 S.C. | (092) 431-1261 | 福岡市博多区博多駅前4-16-1 |
| | 久留米 S.S. | (0942) 39-3495 | 久留米市西町字神浦1-1192 |
| | 北九州 S.C. | (093) 921-3981 | 北九州市小倉北区片野2-15-12 |
| 長崎 | 長崎 S.C. | (095) 862-5522 | 長崎市城山町9-13 |
| | 佐世保 S.S. | (0956) 33-5568 | 佐世保市木風町1467-2 |
| 大分 | 大分 S.C. | (097) 543-1422 | 大分市西大道3-1-1 |
| 熊本 | 熊本 S.C. | (096) 353-4536 | 熊本市近見町8-1-10 |
| 宮崎 | 宮崎 S.S. | (0985) 24-5401 | 宮崎市霧島町3-59 |
| | 延岡 S.S. | (0982) 35-7077 | 延岡市惣領町24-3 |
| 鹿児島 | 鹿児島 S.C. | (099) 282-8818 | 鹿児島市田上七丁目9-8 |
| 沖縄 | 沖縄 S.C. | (098) 898-3631 | 宜野湾市真志喜1-13-16 |

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0704

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
T.C.はテクニカルセンターの略称です。

# 主な仕様 －本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。－

- トラック方式：コンパクト カセット・ステレオ
- ヘッド：再生(メタパーム)×1 デッキA<br>消去(2ギャップフェライト)×1 ｝コンビネーション デッキB<br>録音／再生(メタパーム)×1 ｝
- モーター：キャプスタン用(電子制御DC)×1 ｝<br>リール用(DC)×1 ｝デッキA・B共<br>メカニズム駆動用(DC)×1 ｝
- テープ速度：4.8cm/秒(定速時)、テープスピードつまみ中央位置<br>9.5cm/秒(倍速時)
- ワウ・フラッター：*±0.17% W・Peak<br>0.08% WRMS
- 早巻時間：約110秒(C-60)
- 周波数特性(－20dB録音)：メタルテープ：*30Hz～16,000Hz ±3dB<br>ハイポジションテープ：*30Hz～15,000Hz ±3dB<br>ノーマルテープ：*30Hz～15,000Hz ±3dB
- 周波数範囲(－20dB録音)：メタルテープ：*20Hz～17,000Hz<br>ハイポジションテープ：*20Hz～16,000Hz<br>ノーマルテープ：*20Hz～16,000Hz
- SN比：*54dB(WTD、メタルテープ)<br>58dB(A.WTD、315Hz、3%3次高調波ひずみ率、メタルテープ)<br>DOLBY B NR ON時1kHzで5dB、5kHz以上で10dB向上<br>DOLBY C NR ON時500Hzで約15dB、1kHz～10kHzで最大20dB向上<br>MOL改善効果10kHzで4dB向上
- ひずみ率：0.8%(315Hz、0VU、3次高調波ひずみ率、メタルテープ)
- チャンネルセパレーション：40dB(1kHz)
- クロストーク：60dB(1kHz)
- 入力端子：マイク(×1、モノーラル)：0.4mV(0VU、適合インピーダンス600Ω～10kΩ)、－68dBV<br>ライン入力(×1系統)：80mV(0VU、入力インピーダンス50kΩ)
- 出力端子：ライン出力(×1系統)：300mV(0VU、出力インピーダンス5kΩ)<br>ヘッドホン(×1)：0～1mW/8Ω(0VU、適合インピーダンス8Ω～1kΩ)
- その他の端子：コンピュリンク3/シンクロ(×2)：当社のCDプレーヤーとシンクロ録音可能
- 電源：AC 100V、50Hz/60Hz共用
- 消費電力：電源“オン”時17W、電源“スタンバイ(切)”時4W
- 質量：約4.9kg
- 寸法図

- ＊印は電子情報技術産業協会（JEITA）規格に決められた測定方法による数値です。

**付属品**

・ピンコード ……………………… 2<br>
・リモコン(RM-STDW603MK3)… 1<br>
・単3形乾電池(動作確認用)……… 2

**ご相談や修理は**

**ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。**

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

| 修理などのアフターサービスに関するご相談<br>**ビクターサービスエンジニアリング株式会社** | お買い物相談や製品についての全般的なご相談<br>**お客様ご相談センター** |
|---|---|
| 27ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。 | フリーダイヤル 0120-2828-17<br>携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は<br>☎ (03)5684-9311<br>FAX (03)5684-9317<br>〒113-0033 東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル |


ビクターインターネットホームページアドレス http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
AV&マルチメディアカンパニー
〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12




1004 MOMSANJEM